

# 氷川町立竜北中学校第1学年1組 外国語科 学習構想案

期 日 令和7年1月24日（金）第5校時

場 所 1年1組教室

指導者 T1 教諭 池崎 佑太

T2 教諭 飯田 紀子

ALT アンドリュー・クラーク

## 1 単元構想

単元名	Unit 7 New Year Holidays in Japan (Here We Go! English Course 1 pp. 104 – 116)		
単元の目標	(1) be 動詞の過去形、一般動詞の過去形などの文法事項を活用し、冬休みの出来事や感想などについて、伝えることができる。〔知識及び技能〕 (2) 冬休みの出来事や感想などについて、情報を整理し、既習事項を用いて相手に伝えることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 相手に配慮しながら、英語を用いて冬休みの出来事や感想などについて伝えようとする。〔学びに向かう力、人間性等〕		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	【話すこと〔発表〕】（イ） ・ be 動詞の過去形や一般動詞の過去形などを用いた文の構造を理解している。 ・ 冬休みの出来事や感想などについて、一般動詞の過去形や、be 動詞の過去形などを用いて、相手に伝える技能を身に付けている。	【話すこと〔発表〕】（イ） ・ ALTに冬休みの出来事や感想などを伝えるために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて相手に伝えている。	【話すこと〔発表〕】（イ） ・ ALTに冬休みの出来事や感想などを伝えるために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて相手に伝えようとしている。
<b>単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）</b>			
ALTに日本の年末年始の過ごし方に興味を持ってもらえるように、冬休みの出来事や感想などについて、相手に配慮しながら、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し伝えている生徒。			
単元を通じた学習課題		本単元で働かせる見方・考え方	
アンドリュー先生に日本の年末年始の過ごし方に興味を持ってもらえるように、冬休みの出来事や感想などについて、英語で伝え、How interesting!!と思わせよう。		ALTの背景にある文化や興味・関心に配慮しながら、冬休みの出来事や感想などについて、内容や表現を工夫すること。	
<b>指導計画と評価計画（時間取扱い 本時 2 / 1 1 ）</b>			
過程	時間	学習活動	具体的評価規準 ★は記録に残す評価の場面での「具体的評価規準」
一	1	○単元の目標を理解し、自己目標を設定する。 ○一般動詞過去形の用法を理解する。 ○一般動詞過去形の肯定文を使って「冬休みにしたこと」について表現する。	【知】（ワークシート、行動観察）
二 （本時）	1	○一般動詞過去形の疑問文とその答え方、否定文の用法を理解する。 ○一般動詞過去形の肯定文・疑問文・否定文を使って、冬休みの出来事について伝え合う。	【知】（ワークシート、行動観察）
三	1	○be 動詞過去形の肯定文の用法を理解する。 ○be 動詞過去形の肯定文を使って「冬休みにしたこと」の感想」を表現する。	【知】（ワークシート、行動観察）
四	1	○ティナ、ハジン、エリの大晦日に関する会話の内容を理解する。 ○「大晦日にしたこと」について表現する。	【知】【思】（ワークシート、行動観察）

五	1	<p>○ティナ、ハジン、エリの年末年始に食べたものに関する会話の内容を理解する。</p> <p>○「年末年始に食べたもの」について表現する。</p>	【知】 【思】 (ワークシート、行動観察)
六	2	<p>○初詣でのティナ、ハジン、エリの会話とティナとコウタのメッセージのやりとりの内容を理解する。</p> <p>○ティナのお正月の出来事についての感想を理解する。</p> <p>○「お正月の出来事や感想など」について表現する。</p>	【知】 【思】 (ワークシート、行動観察)
七	2	<p>○コウタからブラウン先生へのはがきの内容を理解する。</p> <p>○「冬休みの出来事や感想など」について表現する。</p>	【知】 【思】 【態】 (ワークシート、行動観察)
八	2	○パフォーマンステスト (ALT への発表テスト)	<p>★【知】 (パフォーマンステスト) 冬休みの出来事や感想などについて、be 動詞の過去形や一般動詞の過去形の文を用いて伝える技能を身に付けている。</p> <p>★【思】 (パフォーマンステスト) ALT に冬休みの出来事や感想などについて伝えるために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて相手に伝えている。</p> <p>★【態】 (パフォーマンステスト) ALT に冬休みの出来事や感想などについて伝えるために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて相手に伝えようとしている。</p>

## 2 単元における生徒の実態

生徒の実態（単元の目標につながる学びの実態）				
■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況				(単位：人)
調査内容	正解	不正解		
①I (ア am from / イ from ウ am ) Hikawa.	18	5		
②(ア Are / イ Am ウ Do ) you read books every day?	19	4		
③(ア Are / イ Am ウ Do ) you happy?	18	5		
④Ms. Saito writes a letter to Andrew.	疑問文に	16	7	
	否定文に	14	9	
⑤He is in his room now.	疑問文に	19	4	
	否定文に	19	4	
■本単元の学習に関する意識の状況				(単位：人)
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
知っている英語の表現を使って、簡単なやり取りができていていると思う。	12	6	1	0
初めて学習する言葉や表現を使ってみようとしている。	13	5	1	0
クリスマス、年末、お正月などがある冬休み期間にあなたがよくしていることは何ですか？ 友達と遊ぶ / 部活動をする / 神社めぐりをする / 初詣に行く / 寝る / スマホをさわる / 親戚で集まってご飯を食べる / 習い事に行く / 大掃除をする / 勉強をする / 宿題をする / クリスマスに向けて部屋のかざりつけをする / 家族とゆっくり過ごす など				
■考察				
<p>基礎・基本の定着状況について、be 動詞の文と一般動詞の文に関しては、選択問題①～③の正答率は比較的高かったが、疑問文、否定文を作る問題④・⑤については特に④一般動詞の文の正答率が低かった。助動詞 does、doesn't の語順は正しいものの、write に3単現の s をつけたままにしている（動詞を原形にしていない）という間違いが多かった。新出の言語材料に対しては、十分に慣れ親しませ、間違いを恐れずに自信を持って表現できるようにするとともに、動詞の形等の細かい部分の文法指導を行っていくことも必要である。</p> <p>本単元の学習に関する意識の状況については、英語で話したり、既習事項を使って会話を続けようとしたりする態度が育ってきているが、まだ自信を持って言えない生徒もいる。スモールステップで取り組めるよう活動を工夫したり、ペア活動等で意欲を高めたりして、初めて学習する表現であっても失敗を恐れずに使おうとする雰囲気作りに引き続き努めたい。</p> <p>本題材は、ティナ、エリ、ハジンがそれぞれの年末年始の過ごし方について伝え合う、という場面から物語が進んでいく。年末年始の様々な行事や風物詩などにも触れられていることから、生徒たちにとって日本文化の良さを再認識する機会となる。</p> <p>文法事項では、「出来事」を伝えるために必要な一般動詞の過去形や、「感想」を伝えるために役立つ be 動詞の過去形の表現が本題材には多く含まれている。あわせて、主語+be 動詞+補語の文構造における補語として、形容詞（句）、名詞（句）の知識も必要となってくる。本題材を通して、そのような文法・表現を繰り返し使用することで、現在のことに加えて過去のことも幅広く表現できるようになることが期待できる。</p>				

## 3 指導に当たっての留意点

### ○令和6年度校内研究主題

「安心して学び合える学級集団づくり」～主体的・対話的で深い学びが展開されるクラスを目指して～

心理的安全性を見出すための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「失敗してもよい。そこから学びが深まる。」といった趣旨の話を普段から行う。</li> <li>・発表者の発言に姿勢を正して耳を傾け、意見を受け止めることを徹底させる。</li> <li>・苦手な生徒も安心して取り組むことができるようにペアでの教え合いを促す。</li> </ul>
主体的・対話的で深い学びになるための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別学習においては、できるだけ自分の力で解決する方向でアドバイスをする。答えのみをすぐに提示するのではなく、過去のワークシート等を参考にさせ、解決できたときの喜びを自信に変えるよう支援する。</li> <li>・ペア学習やグループ学習において、生徒同士で発表し合い、内容や英語表現等をよりよくするためお互いにアドバイスする機会を設ける。また、全体の場でも、よいモデルを共有することで、生徒が自身の発表の改善に生かせるようにする。</li> <li>・取り組む必然性のある学習課題を設定、共有し、ゴール到達後に達成感があり、学習内容が長く記憶に残るように工夫していく。</li> </ul>

4 本時の学習

(1) 目標 一般動詞過去形の肯定文・疑問文・否定文などを使って、冬休みの出来事について伝え合うことができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される子供の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	<p><b>1 Warming-up</b></p> <p>① Greeting ② Small Talk</p> <p><b>2 Checking Today's Goal</b></p>	<p>○基本的な挨拶やALTからの質問で授業を開始し英語学習への意欲を高める。 ○既習表現を用いて、ペアと会話する。</p>
		<p><b>【単元のゴール】</b> アンドリュー先生に日本の年末年始の過ごし方に興味を持ってもらえるように、冬休みの出来事や感想などについて、英語で伝え、How interesting!!と思わせよう。</p>	
		<p><b>【学習課題】</b> 冬休み（年末年始）の出来事についてアンドリュー先生や友達に質問し、自分と違う点を探そう！</p>	
展開	35分	<p><b>3 Introduction for the New Grammar</b> ALT との Teacher Talk と生徒との会話、そしてパターンプラクティスを行いながら新出文法を確認する。 ◇主語が3人称単数のときにも疑問文、否定文では did を使うんだな ◇do, does が did になっただけか ◇did が出てきたら動詞は原形か <b>ひ</b></p> <p><b>4 Talking</b> ①冬休みの出来事についてアンドリュー先生や友達と伝え合い、違う点を見つける。 A: Did you eat <i>Toshikoshi soba</i> on New Year's Eve? B: No, I didn't. I ate <i>sukiyaki</i>. A: Great! I like it, too.</p> <p>②必要に応じて中間指導を行い、修正点や参考すべき点等について共通理解を図る。 ◇～と言いたい時はどうすればいいのかな。 ◇質問に対して Yes / No で答えるだけでなく、情報を付け加えている。 <b>か</b></p> <p><b>5 Writing</b> 冬休みの出来事について、アンドリュー先生や友達と違う点を英文で書く。 ・ Andrew didn't visit shrines. ・ I didn't eat pizza, but Andrew ate it.</p>	<p>[心理的安全性を見出すための工夫] ○ペアでお互いにアドバイス・教え合いをしながら課題解決に向かわせる。 ○新出文法の意味・形・用法に生徒自身が気付くことができるようにする。</p> <p><b>【具体の評価規準】</b> 「話すこと[発表]」(4)【知】（行動観察） 一般動詞過去形の肯定文・疑問文・否定文等を用いながら、冬休みの出来事について、伝える技能を身につけている。</p> <p><b>【到達していない生徒への手立て】</b> ○中間指導や机間支援（個別支援）を通して文法の形や用法等を再確認する。 ○共通する文法的な誤りについては、全体で確認・修正する。</p> <p><b>【期待される学びの姿】</b> 間違いを恐れずに新出文法等を使いながら表現できる生徒</p>
終末	5分	<p><b>6 Conclusion and Reflection</b> 冬休みの出来事について、アンドリュー先生と違う点を全体で共有する。</p>	
		<p><b>【まとめ】</b> 違う点：（例）アンドリュー先生は大晦日にそばではなく、ピザを食べていた。</p>	
		<p>◇冬休みの出来事について、アンドリュー先生と違う点を知ることができた。 <b>わ</b></p>	<p>○単元のゴール達成に向けての意識付けを行う。 ○指導者から活動に対する気付きを述べる。 ○次時に向けての確認・連絡をする。</p>

<A 評価の発表例>

I'll tell you about my New Year's Eve.

What did you eat on New Year's Eve? I ate *Toshikoshi soba* with my family. It was delicious. Many Japanese people eat it on New Year's Eve. Soba is a kind of noodles and long. So, it's a sign of long life.

Many people also watch *Kohaku Utagassen* on TV at night on the day. It's an old and famous Japanese music show. We can see a lot of popular singers and music groups on the show. I'm not interested in music. So I didn't watch it.

<B 評価の発表例>

I'll tell you about my New Year's Day.

In Japan, we eat osechi on new year days. I cooked it with my mother on New Year's Eve. It was fun. I ate it with my family for breakfast and lunch. My family liked it, so I was very happy.

【板書計画】

<p>○パターンプラクティス等における イラスト・英文 ○生徒の発話内容 など</p>	<p>Friday, January twenty - fourth, sunny</p> <p><b>単元のゴール</b></p> <p>アンドリュウ先生に日本の年末年始の過ごし方に興味を持ってもらえるように、冬休みの出来事や感想などについて、英語で伝え、How interesting!!と思わせよう。</p> <p><b>学習課題</b> 冬休み（年末年始）の出来事についてアンドリュウ先生や友達に質問し、自分と違う点を探そう！</p> <p>I <b>listened</b> to music on New Year's Eve.  <b>Did</b> you <b>listen</b> to music on New Year's Eve?  I <b>didn't</b> <b>listen</b> to music on New Year's Eve..</p> <p><b>まとめ</b> 違う点：アンドリュウ先生は大晦日にそばではなく、ピザを食べていた。</p>
---	--

【ICT活用計画】

- ・電子黒板（本時）・・・教師による教材等の提示
- ・デジタル教科書・・・教科書の内容理解・音読等
- ・タブレットPC（パフォーマンステスト時）・・・生徒発表におけるイラスト・写真等の提示

【適用問題等の工夫】

あなたの通っている学校では毎年、その学校のALTや近くに住むALT、語学留学生とオンラインで冬休みにしたことを発表するイベントが行われています。次の3つの条件を守って3文以上の英文でその発表内容を英語で書きましょう。

条件1：冬休みにしたことを最低1つは書く  
条件2：それに対する感想を書く  
条件3：発表を聞いている人たちに対する質問を書く